

保護者説明会用

忍野村保育所・認定こども園の 編成に関する資料

子育て支援課(R8.6.30)

【はじめに】

はじめに、本日ご説明する忍野村保育所・認定こども園の再編成ですが、「来年度入所を希望するすべてのお子さんを受け入れる体制を整えたい」という目的から、現在「忍野村子ども子育て会議」で検討をしているものです。ご提案する案につきましては検討している1つの案で決定事項ではありません。

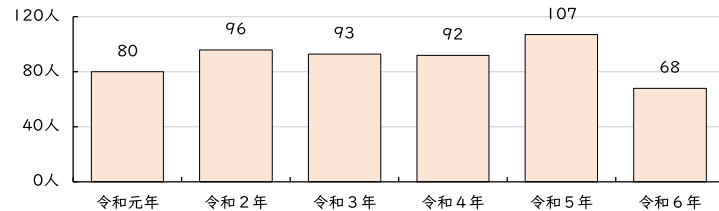
今後「子ども子育て会議」で方向性を決めて行く中で、皆様のご意見を反映したいと考えておりますのでご理解をお願いいたします。

子どもの出生数と将来推計

出生数

令和6年の出生数は、68人となっています。

令和元年からの推移をみると、令和元年は80人台、令和2～4年は90人台、令和5年は100人台と、増減を繰り返しながら増加傾向にありましたが、令和6年は68人と、大幅に減少しています。

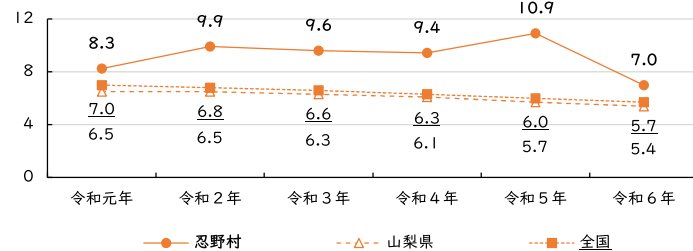


資料：「人口動態調査」

出生率（人口千人対）

令和6年の忍野村の出生率（人口千人対）は、7.0となっています。これは、山梨県や全国よりも高い水準です。

令和元年からの推移をみると、上下を繰り返しながら上昇傾向にあります。一方、山梨県や全国では、継続して低下傾向にあります。



資料：「人口動態調査」

参考：令和7年度出生数、123名。

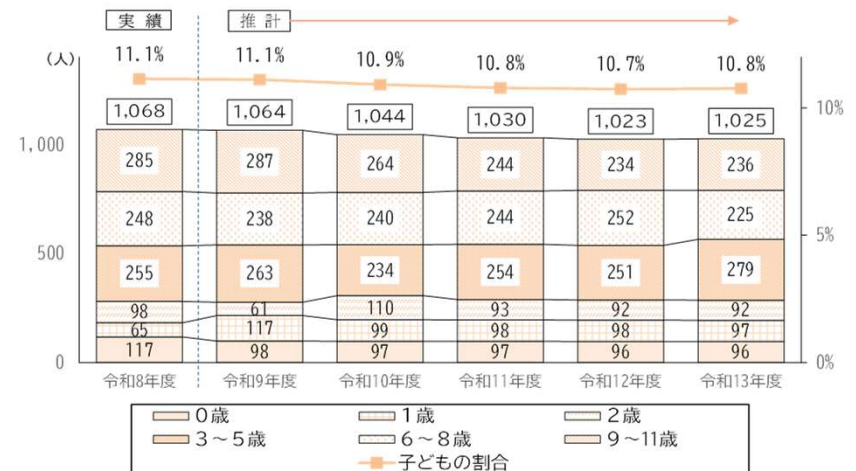
5歳以下の子どもの人数の将来推計

令和4年度から令和8年度（4月1日時点）の性別・各歳別の平均変化率を基本に、忍野村の人口を推計すると、下表のとおりになります。

令和13年度の総人口は9,519人と、忍野村でも総人口が減少していくことが見込まれ、5歳以下の子どもの人数は、令和8年度の0歳児（令和7年度の出生数）が大幅に増えたことにより、各歳別にみると年度によっては増加するところもありますが、5歳以下の総数では概ね微減傾向で推移すると想定されます。

【人口推計】

	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
総人口	9,586	9,573	9,559	9,546	9,525	9,519
子どもの人数	1,068	1,064	1,044	1,030	1,023	1,025
子どもの割合	11.1%	11.1%	10.9%	10.8%	10.7%	10.8%
9～11歳	285	287	264	244	234	236
6～8歳	248	238	240	244	252	225
3～5歳	255	263	234	254	251	279
2歳	98	61	110	93	92	92
1歳	65	117	99	98	98	97
0歳	117	98	97	97	96	96



忍野村の現状と用語の説明

【忍野村の現状】

忍野村には現在公立保育所 2 園と公立幼稚園 1 園があり、255 名の園児が通っています。

村内には民間保育施設として認定こども園「ウブントゥ忍野の森」小規模保育所「エンジェルの森」企業主導型保育所「ファナック保育園」があり、多くのお子さんが通っています。その他、近隣市町村の幼稚園や保育施設に通っているお子さんもいます。

このような保育環境の多様化に伴い、村内の公立 3 園の定員に対する入所率は 60 % ほどになっています。

一方、ここ数年 0 歳児から 1 歳児の保育ニーズの高まりに伴い保育士の必要数が増加し、このままの体制だと来年度には待機児童が発生してしまう見込みとなっています。

用語の説明	
1 号認定	満 3 歳以上で保育の必要がない子ども
2 号認定	保育が必要な 3 歳以上児
3 号認定	保育が必要な 3 歳未満児

保育士最低配置基準		
年齢	園児数	保育士数
年長児	25	1
年中児	25	1
年少児	15	1
1 歳～ 2 歳児	6	1
0 歳児	3	1

令和8年度 園児数と保育士数

認定こども園忍野幼稚園		
建築年	H1年	(築37年)
学 年	園児数	保育士数
年 長1号	19	1
年 長2号	6	
年 中1号	9	1
年 中2号	9	
年 少1号	11	2
年 少2号	10	
2歳児(1号)	7	2
2歳児(3号)	2	
合 計	73	6

園児定員 (165名) 入所率44.2%

内野保育所		
建築年	H17年	(築21年)
学 年	園児数	保育士数
年 長	12	1
年 中	19	1
年 少	15	1
2歳児	18	3
1歳児	12	2
0歳児	16	6
合 計	92	14

園児定員 (145名) 入所率63.4%

忍草保育所		
建築年	H9年	(築29年)
学 年	園児数	保育士数
年 長	20	1
年 中	20	1
年 少	15	1
2歳児	16	3
1歳児	10	2
0歳児	9	3
合 計	90	11

園児定員 (140名) 入所率64.2%

園児総数	255
保育士数	31

※園長、主任、支援員数は含めていません。



令和9年度 園児数と保育士数（見込）

認定こども園忍野幼稚園		
建築年	H1年	(築37年)
学 年	園児数	保育士数
年 長1号	9	1
年 長2号	9	
年 中1号	11	1
年 中2号	10	
年 少1号	11	2
年 少2号	10	
2歳児(1号)	7	2
2歳児(3号)	2	
合 計	69	6

園児定員 (165名) 入所率41.8%

内野保育所		
建築年	H17年	(築21年)
学 年	園児数	保育士数
年 長	19	1
年 中	15	1
年 少	18	2
2歳児	10	2
1歳児	16	3
0歳児	18	6
合 計	96	15

園児定員 (145名) 入所率66.2%

忍草保育所		
建築年	H9年	(築29年)
学 年	園児数	保育士数
年 長	20	1
年 中	15	1
年 少	16	2
2歳児	9	2
1歳児	9	2
0歳児	12	4
合 計	81	12

園児定員 (140名) 入所率57.8%

園児総数	246
保育士数	33

2名不足

再編案 2園集約（3歳未満児・3歳以上児分離）

認定こども園忍野幼稚園(休園)

建築年 H1年 **(築37年)**

学 年	園児数	保育士数
年 長1号		
年 長2号		
年 中1号		
年 中2号		
年 少1号		
年 少2号		
2歳児(1号)		
2歳児(3号)		
合 計	0	0

園児定員 (165名)

新設園：認定こども園

建物（内野保育所）

建築年 H17年 **(築21年)**

学 年	園児数	保育士数
年 長1号	9	3
年 長2号	48	
年 中1号	11	3
年 中2号	40	
年 少1号	11	4
年 少2号	44	
満3歳児（2歳児1号）	7	2
合 計	170	12

園児定員 (145名) ←定員を増やす

新設園（未満児保育所）

建物（忍草保育所）

建築年 H9年 **(築29年)**

学 年	園児数	保育士数
年 長		
年 中		
年 少		
2歳児	21	4
1歳児	25	5
0歳児	30	10
合 計	76	19

園児定員 (140名)

園児総数	246
保育士数合計	31

保育士数対応可能

令和9年度に向けた 変更点	忍野幼稚園を休園とし、2園に集約する。 内野保育所の建物を「認定こども園」にして3歳以上児を受け入れる。 忍草保育所の建物を「未満児保育園」にして3歳未満児を受け入れる。
将来展望	将来的に公立の認定こども園1園にして、0歳児から年長児まで受け入れられるようにする。 様々な子育てニーズに対応できる子育て支援の拠点にする。
メリット	現在の保育士数で対応可能。待機児童を回避できる。 2園に集約することにより施設経費が削減できる。未満児の途中入所の受入が出来る。 3歳以上児を1か所で受け入れることにより、幼児教育の充実を図れる。
問題点	兄弟で3歳以上児と3歳未満児のいる家庭は送迎が2か所になる。 全員ではないが、在園児が建物を移動する必要がある。

【まとめ】

○現状の体制（3園存続）では保育士不足により待機児童が出る見込みである。保育士の確保が困難。

○3歳以上児と3歳未満児施設に集約することにより、現状の保育士数で受け入れが可能である。

○幼稚園は老朽化しているため、内野保育所の建物を「認定こども園」として3歳以上児をまとめて受け入れ、忍草保育所の建物を「未満児保育園」にして3歳未満児を受け入れる。

○3歳以上児を1か所にまとめることで幼児教育を充実できる。経費削減分を教育費に充てられる。幼稚園で行っているバイオリン教室や英語教育を全員が受けられる。

○将来的に中央に建替えて1園に集約する計画がある。老朽化している幼稚園を空けることで修繕費などの経費削減と場所の確保もしやすくなる。1園に集約することにより0歳から卒園まで同じ園で過ごせる。兄弟も一緒に通える。

この案は「忍野村子ども子育て会議」で検討中のため、まだ決定事項ではありません。保護者のみなさまの意見を参考に方向性を固めて行きたいと考えております。